

決算特別委員会を設置し、 令和2年度会計の決算を審査しました

9月定例会議において、議員全員で構成する決算特別委員会(三宅智加子委員長、桑原誠副委員長)を設置し、令和2年度の各会計決算関係議案7件について、9月21日から27日までの間で審査を行いました。

慎重に審査を進めた結果、市内事業者への就業促進事業に関する事、フレイル予防事業の推進に関する事、施策・事業評価における成果指標の適正評価に関する事など、幅広い視点から議論を交わしました。

その後、決算特別委員会における41項目の意見・要望を盛り込んだ委員長報告書を取りまとめ、9月議会最終日に全ての各会計決算を認定しました。

特に、保育所等における新型コロナウイルス感染症対策については、全議員の合意形成を図った最重要の意見・要望として、市長に回答を求めることとしました。

全議員により合意形成を図った意見・要望

保育所等における新型コロナウイルス感染症対策については、国が令和2年度 第3次補正に予算を計上していることや感染者が低年齢化している現状も踏まえ、感染症対策の徹底を図りながら、保育を継続的に実施していくために必要な経費(かかり増し経費)や感染防止用の備品購入経費、また、安心・安全な保育の提供を図る上でも有効なICT化推進事業、保育体制強化事業など事業者ニーズを捉えながら、早急に対応されたい。

令和2年度各会計決算の概要

一般会計及び特別会計	歳入	歳出	
一般会計	694億0,080万円	687億9,985万円	
特別会計	国民健康保険	145億8,661万円	140億3,762万円
	介護保険	136億9,923万円	132億3,871万円
	後期高齢者医療	20億2,113万円	19億8,398万円
	病院事業債管理	9億8,088万円	9億8,088万円
事業会計	収益的収入	収益的支出	
水道事業	29億3,119万円	24億6,344万円	
公共下水道事業	40億6,525万円	33億3,087万円	

(1万円未満四捨五入)

その他の主な意見・要望(抜粋)

●庁舎整備

コロナ禍、豪雨災害などで厳しさを増している市の財政や市民生活、IT化やオンライン化の推進による行政機能の軽量化なども考慮し、多くの市民が納得できる方針案を策定してほしい。

●フレイル予防事業

外出自粛でフレイル状態に陥る方を減少させる大変重要な取組なので、コロナ禍の中でも丁寧かつ着実に進めてほしい。

●市民協働部の施策・事業評価

結果に伴う適切な検証・分析手法を基に評価されたか疑問があるので、PDCAサイクルが十分に機能するよう、分析能力を高める研修を積極的にしてほしい。

●市内事業所への就業促進事業

さらに大牟田企業合同面談会の充実を図って、若者に対する地元就職支援に取り組んでほしい。

●児童・生徒の学習機会の確保

長引くコロナ禍で、教職員はさらに多忙となって疲弊しているので、支援員等の増員や通信環境の整備など人的・物的支援を一層充実し、その確保をしてほしい。

●2級河川の整備・維持管理

県の責任で行われるべきものなので、これまで不足していた浚渫工事等の予算を確保して実施するように市からも強く要望してほしい。

●公共交通対策

路線バスの廃線・減便が進む中、地域住民の高齢化などで生活へ非常に大きな影響が及んでいて、現状維持だけでは限界があるので、市内全域の公共交通の在り方を検討してほしい。

●市内公園の維持管理

市民ボランティアにも大きく支えられているので、維持管理の現状やボランティア制度を広報おおむた等でも広く周知して、市民参加が増えるように取り組んでほしい。